

- 問1 中国・四国地方の3つの都市（高知市、高松市、松江市）の気候統計を比較した際、松江市に見られる特徴として、冬の降水量が12月や1月においても100mmを超えている点が挙げられます。このような気候区分を何と呼びますか。最も適切な名称を選んでください。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 日本海側の気候

2. 太平洋側の気候

3. 内陸の気候

4. 瀬戸内の気候
- 問2 中国・四国地方の各県の統計において、工業製品出荷額が10兆円を超え、他県に比べて際立って高い数値を示している県があります。この県の工業が盛んな理由として最も適切な説明を選びなさい。（2019年 熊本県公立入試 類似）

1. 瀬戸内海の沿岸部に石油化学コンビナートなどが形成され、重化学工業が発達したため。

2. 県内全域に大規模な漁港が多く、水産加工業の出荷額が全国有数の規模であるため

3. 広大な平野を活用した米作りや果樹栽培が盛んで、農業に関連する製造業が発展したため。

4. 内陸部の交通網の整備に伴い、高速道路沿いに先端技術産業の工場が多数進出したため。
- 問3 中国・四国地方の白地図において、瀬戸内海に面した中国地方西部の地域に位置する県の特徴として、最も適切なものはどれですか。（2022年 静岡県公立入試 類似）

1. 県庁所在地の山口市に、国宝の五重塔で知られる瑠璃光寺がある。

2. 県庁所在地の松江市に、国宝の城郭である松江城がある。

3. 県庁所在地の広島市に、世界文化遺産である原爆ドームがある。

4. 県庁所在地の岡山市に、日本三名園の一つである後楽園がある。
- 問4 中国地方に位置する岡山県は、県名と県庁所在地の名称が一致している県の一つです。この県のように、明治時代の廃藩置県を経て成立した自治体において、中心的な城下町の名称がそのまま県名に採用されたケースは多く見られます。岡山県において、県庁が置かれている都市の名称として正しいものはどれですか。（2016年 長崎県公立入試 類似）

1. 倉敷市

2. 玉野市

3. 岡山市

4. 津山市
- 問5 1991年から2000年代にかけての徳島県における小売業売場面積の推移について、正しい説明はどれですか。統計資料の数値に基づいた記述を選びなさい。（2024年 京都府公立入試 類似）

1. 2004年に面積が最小となり、2016年にかけて全国平均を上回る急激な増加を見せた。

2. 1991年から2016年にかけて、売場面積は常に100万平方メートル以上を維持している。

3. 1991年から2007年にかけて一貫して減少し続け、商業活動の規模が縮小した。

4. 1991年の約92万平方メートルから増加し、2004年には100万平方メートルを超えた。
- 問6 香川県高松市を含む瀬戸内地域では、他の地域に比べて年間の降水量が少なく、古くから農業用水を確保するために「ため池」が多く作られてきました。このように降水量が少なくなる地理的な理由として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 高知県公立入試 類似）

1. 太平洋側から吹き込む夏の季節風が、四国山地を越える際にフェーン現象を引き起こして気温が急上昇するため

2. 冬の北西の季節風が非常に強いものの、日本海側で水分をすべて放出した後の冷たく乾燥した空気が直接流れ込むため

3. 北側の中国山地と南側の四国山地によって、夏と冬それぞれの季節風が運ぶ湿った空気がさえぎられるため

4. 対馬海流の影響を強く受け、年間を通じて高気圧に覆われる日が多く、上昇気流が発生しにくいいため
- 問7 中国地方の3つの県（I、II、III）における工業産出額の統計において、県IIIは、輸送用機械工業の産出額が約3兆2663億円に達し、化学工業（約4348億円）や鉄鋼業（約1兆1893億円）と比較して圧倒的に大きな割合を占めています。この県IIIにあてはまる県名として正しいものを次のうちから選びなさい。（2024年 三重県公立入試 類似）

1. 山口県

2. 島根県

3. 広島県

4. 岡山県
- 問8 岡山県から四国側への自動車による到達圏域の変化を調べた調査において、1985年時点と比較して、2011年時点では四国側のより広範囲の地域へ短時間で到達できるようになっています。このような変化が生じた歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 1998年に明石海峡大橋が開通し、徳島県から岡山県への移動が容易になったため。

2. 1988年に瀬戸大橋が開通し、本州と四国が道路と鉄道によって直結されたため。

3. 1988年に青函トンネルが開通し、全国的な高速道路網の整備が完了したため。

4. 瀬戸内海沿岸の埋め立てが進み、四国との間の海上の距離が物理的に短くなったため。
- 問9 島根県の工業構造について、製造品出荷額の統計資料から読み取れる背景や特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 滋賀県公立入試 類似）

1. シリコンアイランドと呼ばれるような、大規模な半導体工場を中心とした工業集積が見られる。

2. 高速道路網の整備により、大消費地に供給するための食料品工業が製造品出荷額の第1位となっている。

3. 歴史的な背景に由来する鉄鋼業が、県全体の製造品出荷額において主要な産業の一つとなっている。

4. 阪神工業地帯の一角を担う地域として、大規模な石油化学コンビナートが沿岸部に形成されている。
- 問10 島根県松江市において、12月や1月の降水量が100mmを超え、他の季節と比較しても降水量の差が太平洋側に比べて小さくなる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 夏に太平洋から吹く季節風が、四国山地を越えて湿った空気を運んでくるため。

2. 中国山地と四国山地に挟まれているため、季節風の影響を受けにくく乾燥するため。

3. 年間を通じて温暖な黒潮の影響を強く受け、台風の通り道になりやすいため。

4. 冬に日本海を渡ってくる湿った北西の季節風が、中国山地にぶつかって雪や雨を降らせるため。
- 問11 東京都中央卸売市場におけるナスの月別入荷量を確認すると、群馬県産が夏から秋にかけて入荷のピークを迎えるのに対し、高知県産は1月から5月にかけて毎月1000トン以上の高い入荷量を示し、夏になると減少するという対照的な動きが見られます。高知県がこのような出荷計画を立てている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

1. 夏の台風被害を避けるため、あえて収穫時期を冬から春のみに限定しているため。

2. 他の産地の出荷量が少ない時期に合わせることで、市場価格が高い時期に有利に販売するため。

3. 高知県は夏場の気温が非常に高くなるため、ビニールハウス内の温度管理が不可能になるから。

4. 高冷地の涼しい気候を利用して、他の地域が生産できない冬場に栽培を集中させているから。
- 問12 日本の諸地域における産業や伝統をまとめた資料において、本州の最も西側に位置し、伝統工芸品として「赤間すずり」が記載されている県がある。この県の瀬戸内海沿岸で発達している工業の特色として、正しいものはどれか。（2024年 沖縄県公立入試 類似）

1. 豊かな水資源と安価な電力を利用してアルミニウムの精錬や、製紙業が発展している。

2. 古くから繊維業が盛んだった背景を活かして、現在は高級な絹織物や繊維製品の生産に特化している。

3. 臨海部の埋立地を中心に、石油化学コンビナートが形成され、重化学工業が盛んである。

4. 大規模な平野が広がっているため、広大な土地を必要とする自動車の組み立て工場が集中している。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 日本海側の気候	島根県松江市が位置する日本海沿岸部では、冬に北西の季節風が吹きます。この風が対馬海流（暖流）の上を渡る際に水蒸気を蓄え、中国山地にぶつかると雪や雨を降らせるため、冬の降水量が多くなります。一方、高知市などは太平洋側の気候、高松市などは瀬戸内の気候に分類されます。
問2	答え 1 瀬戸内海の沿岸部に石油化学コンビナートなどが形成され、重化学工業が発達したため。	山口県は、周南市や岩国市などの瀬戸内海沿岸を中心に、石油化学や金属、輸送用機械などの大規模な工場が集まる瀬戸内工業地域の一角を担っています。そのため、工業製品出荷額が非常に高く、中国・四国地方の中でも経済的な存在感が大きいのが特徴です。農業や漁業の産出額が最大であるという事実はなく、あくまで重化学工業が産業の中心となっています。
問3	答え 3 県庁所在地の広島市に、世界文化遺産である原爆ドームがある。	中国地方の西部で瀬戸内海に面している地域は広島県を指します。広島県には県庁所在地の広島市があり、人類史上最初の原子爆弾の惨禍を伝える原爆ドームが世界文化遺産として登録されています。岡山県は中国地方の東部、山口県は中国地方の最西部、島根県は日本海側に位置しています。
問4	答え 3 岡山市	岡山県は、江戸時代の岡山藩の拠点であった岡山城下を中心に成立しました。明治時代の廃藩置県において、旧藩名である「岡山」がそのまま県名および県庁所在地の名称として引き継がれたため、両者は一致しています。同じ中国地方の広島県（広島市）なども同様のケースですが、島根県（松江市）や山口県（山口市）のように、県名と最大の都市名が異なる、あるいは県名と県庁所在地名が一致しない例も存在します。
問5	答え 4 1991年の約92万平方メートルから増加し、2004年には100万平方メートルを超えた。	徳島県の小売業売場面積は、1991年の約92万平方メートルから2004年には100万平方メートルを超えるまで増加しました。その後、2007年にピークを迎え、以降は緩やかな減少に転じています。この1990年代から2000年代半ばにかけての増加は、当時の商業活動の規模拡大を反映しています。
問6	答え 3 北側の中国山地と南側の四国山地によって、夏と冬それぞれの季節風が運ぶ湿った空気がさえぎられるため	瀬戸内の気候の最大の特徴は、二つの山地に挟まれているという地形にあります。夏は太平洋からの湿った季節風が四国山地に、冬は日本海からの湿った季節風が中国山地にそれぞれ遮られます。風が山を越える際に斜面で雨や雪を降らせるため、山を越えて瀬戸内側に吹き下ろす空気は乾燥します。これにより、年間を通じて降水量が少なく、晴天の日が多い温暖な気候となります。
問7	答え 3 広島県	広島県は、自動車産業を中心とした輸送用機械工業が非常に盛んな県です。統計データにおいて輸送用機械工業の割合が突出している点は、広島県の工業の大きな特徴です。一方、山口県は石油化学コンビナートによる化学工業、島根県は特殊鋼などの生産による鉄鋼業が比較的大きな割合を占めるという違いがあります。
問8	答え 2 1988年に瀬戸大橋が開通し、本州と四国が道路と鉄道によって直結されたため。	岡山県から四国側への自動車の移動時間が大幅に短縮されたのは、1988年の瀬戸大橋開通が最大の理由です。それ以前はフェリーによる海上輸送が中心であり、天候の影響を受けやすく時間もかかっていましたが、陸路（橋）で結ばれたことで24時間の安定した往来が可能となり、生活圏や経済圏が拡大しました。明石海峡大橋は兵庫県（神戸市）と淡路島を結ぶルートであるため、岡山県からの直接的な到達圏拡大の主因とは言えません。
問9	答え 3 歴史的な背景に由来する鉄鋼業が、県全体の製造品出荷額において主要な産業の一つとなっている。	島根県の工業は、歴史的な「たたら製鉄」の流れを汲む鉄鋼業が大きな割合を占めている点が最大の特徴です。太平洋ベルトや阪神工業地帯といった大規模な重化学工業地帯とは立地条件が異なりますが、独自の技術力を背景にした産業が製造品出荷額の上に食い込んでいます。他の選択肢は、阪神工業地帯や九州地方（シリコンアイランド）などの異なる地域の特徴を述べています。
問10	答え 4 冬に日本海を渡ってくる湿った北西の季節風が、中国山地にぶつかって雪や雨を降らせるため。	日本海側の気候の大きな特徴は、冬の降水量（降雪量）が多いことです。シベリア高気圧から吹き出す冷たく乾燥した北西の季節風が、比較的暖かい日本海（対馬海流）の上を通る際に大量の水蒸気を取り込み、山脈に突き当たることで上昇気流が発生し、降水をもたらします。これにより、冬の乾燥が著しい太平洋側とは異なる降水パターンを示します。
問11	答え 2 他の産地の出荷量が少ない時期に合わせることで、市場価格が高い時期に有利に販売するため。	野菜の価格は、市場に出回る量（供給）と、それを欲しが量（需要）のバランスで決まります。群馬県などの露地栽培が盛んな地域からナスが多く出荷される夏場は価格が下がりやすいため、高知県ではビニールハウスを用いて時期をずらすことで、競合が少ない冬から春の高値の時期に収益を確保する戦略をとっています。
問12	答え 3 臨海部の埋立地を中心に、石油化学コンビナートが形成され、重化学工業が盛んである。	赤間すずりが伝統工芸品として知られる山口県は、瀬戸内工業地域の一部を担っています。山口県の瀬戸内海沿岸部（周南市や岩国市など）は、大型船が接岸しやすい良好な港湾環境を活かし、輸入した原油を精製・加工する石油化学工業などの基礎素材産業が大きく発展しました。

- 問1 1988年に、岡山県と香川県を島々を伝って結ぶ「本州四国連絡橋（児島・坂出ルート）」が完成しました。これにより本州と四国が陸路で直接結ばれ、物流や人の移動が劇的に変化することとなりました。この時に開通した橋の名称として正しいものを選びなさい。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 明石海峡大橋 2. 瀬戸大橋 3. しなみ海道 4. 青函トンネル
-
- 問2 中国地方の中央部に位置し、広島湾に面する広島市は、周辺の県を含めた広域的な中心地としての役割を持っています。この都市が持つ機能や特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）
1. 広大な平野を利用した稲作が盛んであり、古くから食糧供給の拠点として発展してきた。 2. 瀬戸内工業地域の中核として、みかんなどの果樹栽培とそれを利用した食品加工業が最も盛んである。 3. 国の出先機関や民間企業の支店が集中し、地方中枢都市としての機能を果たしている。 4. 四国地方最大の都市として、本州と四国を結ぶ交通の要所に位置する商業の中心地である。
-
- 問3 中国・四国地方に位置し、瀬戸内海に面したある県では、児島湾などの沿岸部で大規模な「干拓」が行われ、農地が拡大されてきました。この地域に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）
1. 山間部の急斜面を切り開いて段々畑を造り、温暖な気候を利用してミカンの栽培を行っている 2. 地方中枢都市としての機能を高めるため、沿岸部の埋め立て地に多くの官公庁を移転させた。 3. 波の静かな入江を利用して、カキや真珠などの大規模な養殖業を産業の中心としている。 4. もともと塩分を含み農業に不向きだった土地を改良し、広大な農地として利用している。
-
- 問4 鳥取県の農業について述べた次の文のうち、産出額の構成とその背景について説明したものとして正しいものはどれですか。（2017年 富山県公立入試 類似）
1. 瀬戸内海の温暖な気候と傾斜地を活かした、レモンやみかんなどの果実栽培が中心である。 2. 干拓によって得られた広大な平地を利用した、大規模な稲作が中心となっている。 3. 大山の裾野に広がる広大な土地を利用して、牛や鶏などの飼育が盛んに行われている。 4. 大都市に近い立地を活かし、キャベツやレタスなどの近郊農業が産出額の半分以上を占める。
-
- 問5 交通網の整備によって、ある地点から別の地点へ移動するために必要な時間が短くなることを「時間距離の短縮」といいます。1988年に瀬戸大橋が開通した際、本州の岡山駅と四国の高松駅の間で見られた変化の説明として、最も適切なものはどれですか。（2016年 香川県公立入試 類似）
1. 船舶から鉄道や自動車への転換により移動時間が大幅に短縮され、定期券の利用者が急増した。 2. 橋の建設によって海を埋め立てたため、両駅間の物理的な移動距離そのものが短縮された。 3. 交通手段が多様化したことで、移動時間に関わらず運賃が大幅に引き下げられた。 4. 移動にかかる時間は変わらなかったが、橋の完成による心理的な安心感から利用者が増加した。
-
- 問6 ある統計資料によると、特定の農産物の国内生産量において、香川県が96.5%という圧倒的な割合を占めています。香川県（特に小豆島など）でこの農産物の栽培が盛んになった理由として、最も適切な説明を選択してください。（2016年 東京都公立入試 類似）
1. 地中海沿岸の気候に似て、年間を通じて温暖で降水量が少ないため 2. 北欧の気候に似て、冷涼で夏場の日照時間が極めて長いため 3. 東南アジアの気候に似て、高温多湿で年間降水量が非常に多いため 4. 中央アメリカの高原地帯に似て、火山灰土壌で年中冷涼なため
-
- 問7 香川県高松市の南部など、瀬戸内地方の地域に見られる「ため池」の役割と、その背景となる自然環境について述べた文として、正しいものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）
1. 黒潮の影響で年間を通じて温暖湿潤な気候であるため、二毛作を行うための大量の灌漑用水が必要である。 2. 広大な平野が広がり河川の勾配が緩やかなため、湿地帯を乾燥させて宅地化するために水を抜く必要がある。 3. 季節風の影響で冬の降雪量が多く、春先の融雪洪水から耕地を守るために一時的に水を貯める必要がある。 4. 四国山地によって湿った南東の季節風が遮られ、降水量が少なくなるため、人工的に水を貯める必要がある。
-
- 問8 瀬戸内工業地域において、製造品出荷額等に占める「化学工業」の割合が全国平均（14.4%）を大きく上回る約20.5%（2021年）となっている理由として、最も適切な説明はどれか。（2025年 宮城県公立入試 類似）
1. 阪神工業地帯に近接している利点を活かし、自動車や造船などの組み立てを行う機械工業が産業の大部分を占めるようになったため。 2. 内陸部の豊富な水資源と高速道路網を活かして、IC（集成回路）などの電子部品を生産する工場が数多く進出したため。 3. 瀬戸内の温暖な気候で栽培される柑橘類などの農産物を加工する、大規模な食品加工団地が各地に整備されたため。 4. 大型船の入港に適した穏やかな海に面する臨海部に、原料の輸入と製品の出荷に便利な石油コンビナートが形成されたため。
-
- 問9 吉備中央町における2014年から2021年にかけての農業の動向について、統計的な傾向を説明したものとして正しいものはどれですか。（2025年 宮城県公立入試 類似）
1. 新規就農者の受け入れと生産基盤の整備により、農家1戸あたりの経営面積が拡大し、それに伴って果実の産出額も大きく伸びている。 2. 高齢化による離農者が相次いだため、1戸あたりの経営面積は縮小したが、ブランド化による単価上昇によって果実の産出額は横ばいとなっている。 3. 品種改良によって収穫時期を分散させることには成功したが、経営規模や新規就農者の数については、期間を通じて大きな変化は見られない。 4. 耕作放棄地を工業団地へと転用したため、農地面積は減少しており、果実の産出額も2014年以降、減少傾向にある。
-
- 問10 1985年から2015年にかけての四国地方と他地域間の交通手段の変化をまとめた統計において、かつて主要な移動手段であった船舶の利用割合が激減し、代わって自動車の利用が急増して全体の過半数を占めるようになりました。このような交通の変化をもたらした最大の要因として、最も適切なものはどれですか。（2020年 鳥取県公立入試 類似）
1. 格安航空会社（LCC）の参入によって航空機の利用料金が下がり、船舶から航空機への転換が進んだこと 2. 瀬戸大橋をはじめとする本州四国連絡橋が相次いで開通し、本州との間の陸上交通網が整備されたこと 3. 四国全域を網羅する新幹線網が完成したことにより、鉄道と自動車の連携による移動が普及したこと 4. 環境保護の観点から瀬戸内海での大型船舶の航行が厳しく制限され、物流の主役がトラックへ移行したこと
-
- 問11 中国地方の瀬戸内海沿岸に位置する広島県の県庁所在地について、国の出先機関や民間企業の支店が多く集まり、その地方の政治・経済を支える役割を持つ都市の分類として最も適切なものを次から選びなさい。（2016年 岐阜県公立入試 類似）
1. 首都圏機能分担都市 2. 地方中枢都市 3. 政令指定都市（ただし、地方中枢都市ではない） 4. 工業指定都市

答え合わせ・解説

問1	答え 2 瀬戸大橋	1988年に開通した瀬戸大橋は、岡山県（本州）と香川県（四国）を結ぶ道路・鉄道併用橋です。この開通により、それまで船舶に頼っていた本州と四国間の交通が劇的に改善されました。同じ1988年には北海道と本州を結ぶ青函トンネルも開通していますが、こちらは橋ではなく海底トンネルです。明石海峡大橋は1998年に開通した兵庫県と淡路島を結ぶ橋です。
問2	答え 3 国の出先機関や民間企業の支店が集中し、地方中枢都市としての機能を果たしている。	広島市のように、地方の政治・経済・文化の核となる都市は「地方中枢都市」と呼ばれます。広島市は中国・四国地方を代表する都市として、行政や企業の管理機能が高度に集積しています。選択肢にある「みかんの生産」は愛媛県などの特徴であり、広島市の中心的な機能はあくまでも都市としての管理・中枢機能にあります。
問3	答え 4 もともと塩分を含み農業に不向きだった土地を改良し、広大な農地として利用している。	岡山県の児島湾周辺などは、遠浅の海を堤防で仕切り、水を抜いて陸地にする「干拓」によって造られた土地です。干拓地はもともと海底だったため土壌に塩分を多く含んでおり、農業を行うには不向きな環境でしたが、用水路の整備や排水技術の向上によって、県内を代表する農業地帯へと発展しました。
問4	答え 3 大山の裾野に広がる広大な土地を利用して、牛や鶏などの飼育が盛んに行われている。	鳥取県の農業産出額において、畜産は全体の58.1%を占める主要な部門です。これは、大山の周辺に広がる緩やかな傾斜地や広大な土地が、家畜の飼育や牧草地として適しているという地理的条件に基づいています。一方で、米（12.5%）、野菜（10.8%）、果実（7.9%）などの割合は畜産に比べると低くなっており、全国的に見ても畜産に特化した産出構造を持っているのが特徴です。
問5	答え 1 船舶から鉄道や自動車への転換により移動時間が大幅に短縮され、定期券の利用者が急増した。	瀬戸大橋の開通は、それまで船舶に頼っていた本州と四国の間の移動を劇的に変化させました。1987年から1991年にかけてのJR岡山駅・高松駅間の定期券利用者数の推移を見ると、橋が開通した1988年を境に利用者が急増しています。これは「時間距離」が短縮されたことで、県境を越えた通勤や通学が現実的なものとなり、生活圏が一体化したことを示しています。物理的な「距離」は変わりませんが、交通網の整備によって「移動時間」という尺度の距離が縮まったことが重要なポイントです。
問6	答え 1 地中海沿岸の気候に似て、年間を通じて温暖で降水量が少ないため	オリーブの栽培には、地中海沿岸に見られるような「乾燥した夏」と「温暖な冬」という条件が重要です。香川県を含む瀬戸内海沿岸は、季節風が山地に遮られるため年間を通じて降水量が少なく、日照時間が長いという特徴があり、オリーブの生育環境として日本国内で最も適していました。
問7	答え 4 四国山地によって湿った南東の季節風が遮られ、降水量が少なくなるため、人工的に水を貯める必要がある。	瀬戸内の気候は、夏は四国山地が南東の季節風を、冬は中国山地が北西の季節風を遮るため、全国的に見ても雨が少ないのが特徴です。そのため、農業、特に稲作において重要となる「水」を確保する手段として、地形図上に点在するような多くのため池が建設されました。水害対策や工業用水という側面よりも、気候に由来する農業用水の確保が主な目的です。
問8	答え 4 大型船の入港に適した穏やかな海に面する臨海部に、原料の輸入と製品の出荷に便利な石油コンビナートが形成されたため。	瀬戸内海沿岸は、波が静かで水深が深いという自然条件から大型船が接岸しやすく、海外からの原料輸入に頼る重化学工業の立地に適しています。戦後、この有利な条件を活かして、石油化学製品などを一貫して生産する「石油コンビナート」が形成されたことで、製造品出荷額等における化学工業の割合が他の地域に比べて高くなりました。
問9	答え 1 新規就農者の受け入れと生産基盤の整備により、農家1戸あたりの経営面積が拡大し、それに伴って果実の産出額も大きく伸びている。	吉備中央町の統計では、2014年から2021年にかけて営農規模（1戸あたりの面積）が26aから37aへと拡大しています。これは町による「ぶどう生産団地」の整備や共同出荷体制、研修制度の充実が功を奏し、意欲のある新規就農者が増えたためです。この経営規模の拡大に比例するように、果実の産出額も同期間で顕著な増加を示しており、地域の基幹産業としての成長が見て取れます。
問10	答え 2 瀬戸大橋をはじめとする本州四国連絡橋が相次いで開通し、本州との間の陸上交通網が整備されたこと	1988年の瀬戸大橋開通を皮切りに、神戸・鳴門ルート、尾道・今治ルート（しまなみ海道）といった本州四国連絡橋が次々と整備されました。これにより、それまで船舶に頼っていた本州への移動が、自家用車や高速バス、トラックなどの自動車中心へと劇的に変化しました。この変化は「陸続き」になったことによる利便性の向上を象徴しています。
問11	答え 2 地方中枢都市	広島市は、中国地方全体を統括する国の行政機関や民間企業の支店が集中しており、この地方の政治・経済の中心地となっています。このような都市は「地方中枢都市」と呼ばれ、他にも札幌市、仙台市、福岡市などが該当します。また、広島市は1980年に政令指定都市にも指定されています。

- 問1 中国・四国地方の政治や経済の拠点である広島市には、国の省庁が設置する組織や、民間企業の支店が数多く集まっています。このような、特定の地域全体を管轄する国の組織を何と呼びますか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 地方公共団体 2. 特別区 3. 独立行政法人 4. 出先機関
- 問2 山口県が属する瀬戸内工業地域において、化学工業をはじめとする重化学工業が発達した背景として、地理的条件をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
1. 波が穏やかな瀬戸内海の沿岸部を埋め立て、大型船による原料の輸入や製品の輸送に便利なコンビナートが建設されたため。 2. 広大な平野を活用した大規模な機械化農業との兼業が容易であり、農閑期の労働力を活用した繊維工業から発展したため。 3. 京阪神・中京・関東の三大都市圏のちょうど中心に位置し、高速道路網を利用した部品の組み立てや加工を行う内陸工業が発達したため。 4. 内陸部の険しい地形を利用した水力発電によって、安価で大量の電力を得ることが可能になり、アルミニウム工業が発達したため。
- 問3 瀬戸内地域の年間降水量が日本の平均的な降水量よりも少ないことを示した資料に関連して、この地域で古くから水不足を補い、農業用水を確保するために数多く作られてきた施設を何と呼びますか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
1. 用水路 2. 輪中 3. ため池 4. 掘割
- 問4 鳥取県の人口と世帯数の推移をまとめた統計資料において、総人口が減少している一方で、世帯数は増加傾向にあるという特徴が見られます。このような現象が起きている背景として最も適切な説明を、次の中から選びなさい。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
1. 核家族化や高齢化が進み、一人暮らしや二人家族といった少人数世帯の割合が増えたため。 2. 出生率が大幅に上昇したことで、一世帯あたりの子どもの数が増えたため。 3. 県外からの大規模な移住が進んだ結果、5人以上の多人数世帯が急増したため。 4. 住宅不足を解消するために、複数の世帯が一つの住居に同居する形態が一般的になったため。
- 問5 瀬戸内地域の気候は、年間を通じて温暖で降水量が少ないことが特徴です。このように降水量が少なくなる地形的・気候的な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 冬にシベリア高気圧から吹き出す冷たく湿った北西の季節風が、高い山脈にぶつかることなく直接吹き抜けるため。 2. 北を中国山地、南を四国山地に挟まれており、夏と冬の季節風がそれぞれの山地によってさえぎられるため。 3. 標高の高い内陸盆地に位置しており、海からの湿った空気が届く前に周囲の斜面で雨を降らせてしまうため。 4. 日本海を流れる対馬海流の影響を強く受け、湿った空気が上昇する前に山地を越えて乾燥した風が吹き込むため。
- 問6 高知県の平野部では、冬から春にかけての温暖な気候や日照時間の長さを利用して、なすやピーマンなどの栽培を通常よりも早める「促成栽培」が盛んに行われています。このような工夫をして農作物を栽培する主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
1. 夏場の厳しい暑さを避け、冷涼な気候を好む野菜の品質を維持するため 2. 化学肥料や農薬の使用を最小限に抑え、環境に配慮した農作物をブランド化するため 3. 他の産地と出荷時期をずらすことで、需要が高い時期に有利な価格で販売するため 4. 収穫時期を梅雨の時期と重なることで、水やりの手間を省き生産コストを下げるため
- 問7 愛媛県の農業について、統計資料から読み取れる特徴を説明した文として、適切なものはどれですか。なお、愛媛県の年間降水量は約1300mm程度、農業産出額の内訳は、果実が40.2%、野菜が16.4%、米が10.9%であるものとします。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
1. 降水量が少ないため、稲作よりも果実の栽培が適しており、果実の産出額が米の産出額の3倍以上になっている。 2. 降水量が多いため、果実よりも米の栽培が適しており、米の産出額が農業全体の半分以上を占めている。 3. 温暖で雨が多いため、果実と野菜の両方の栽培が同程度に行われており、産出額もほぼ同じ割合である。 4. 降水量が少ないため農業には不向きであり、農業産出額の内訳において果実や米の占める割合は極めて低くなっている。
- 問8 香川県を含む四国地方では、本州四国連絡橋の整備によって地域経済や人々の生活が大きく変化しました。1980年代後半以降、香川県への観光客の交通手段が船舶から自動車へと劇的にシフトした最大の要因として、最も適切な記述はどれですか。 (2017年 高知県公立入試 類似)
1. 高松空港の整備により、全国からの航空路線の便数が増えたため 2. 瀬戸大橋の開通によって、本州と四国が道路で直接結ばれたため 3. 鉄道の高速化が進み、寝台特急などの利用者が増えたため 4. 瀬戸内海での船舶事故を防ぐため、定期船の運航が全面的に廃止されたため
- 問9 中国・四国地方の気候について、瀬戸内（瀬戸内海沿岸）の年間降水量が、山陰や南四国と比べて少ない理由として最も適切なものを説明したものはどれですか。 (2025年 宮城県公立入試 類似)
1. 中国山地と四国山地の間にある平野部において、夏にフェーン現象が頻繁に発生するため。 2. 冬の北西の季節風が中国山地に、夏の南東の季節風が四国山地にそれぞれさえぎられるため。 3. 寒流である親潮の影響により、海面からの水蒸気の蒸発が抑えられ、雨雲が発達しにくい。 4. 一年を通じてシベリア高気圧に覆われ続けており、乾燥した空気が流れ込みやすいため。
- 問10 四国地方に位置するある県は、面積が約1,877km²と日本の都道府県の中で最も小さく、2016年の統計では製造品出荷額が2兆4,953億円となっています。この統計データに該当する県名として正しいものを選びなさい。 (2020年 山形県公立入試 類似)
1. 徳島県 2. 愛媛県 3. 高知県 4. 香川県
- 問11 四国地方の各県の産業を比較した際、徳島県にみられる特徴的な状況について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 第一次産業である農林水産業に従事する人の割合が、他県を圧倒して最も高い。 2. 観光業への特化が進んでいるため、宿泊・飲食サービスの割合が他の産業より極端に高い。 3. 製造業の就業者割合が全国平均より高く、化学工業などの工業が地域経済を支えている。 4. 県内全域で商業のみが発達しており、製造業に従事する人の割合は極めて低い。
- 問12 高知県で野菜の農業産出額が非常に高い主な理由と、その栽培方法の名称として正しい組み合わせはどれですか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
1. 広大な平野を活かして、大型機械を導入し米と麦を交互に育てる「二毛作」が盛んだから。 2. 大都市への近さを活かして、収穫から消費までの時間を短縮し鮮度を保つ「近郊農業」が盛んだから。 3. 温暖な気候を利用して、ビニールハウスなどで野菜の出荷時期を通常より早める「促成栽培」が盛んだから。 4. 標高の高い地域の冷涼な気候を利用して、野菜の出荷時期を通常より遅らせる「抑制栽培」が盛んだから。
- 問13 瀬戸内海に位置する香川県の小豆島では、地域の気候特性を活かした農作物の栽培が盛んです。「年間を通じて降水量が少なく温暖である」という、地中海沿岸の気候に似た条件を活かして栽培されている特産物はどれですか。 (2019年 兵庫県公立入試 類似)
1. さとうきび 2. さくらんぼ 3. オリーブ 4. りんご

答え合わせ・解説

問1	答え 4 出先機関	広島市は広島県の県庁所在地であるだけでなく、中国・四国地方全体をまとめる役割を担っています。このような都市には、国の各省庁が業務を分担するために設置する「出先機関」や、企業の「支店」が集中します。これらは、その地域における行政や経済の管理・調整を行う重要な機能を果たしています。
問2	答え 1 波が穏やかな瀬戸内海の沿岸部を埋め立て、大型船による原料の輸入や製品の輸送に便利なコンビナートが建設されたため。	瀬戸内海沿岸は、遠浅の海が広がっていたため埋め立てが容易であり、さらに波が穏やかで水深を確保しやすかったことから、大型船舶が接岸できる良港に恵まれていました。この立地条件を活かして、海外からの石油などの資源を輸入し、精製・加工を行う石油化学コンビナートや製鉄所が集中して建設されました。
問3	答え 3 ため池	瀬戸内地域、特に香川県の讃岐平野などは、地形の要因で雨が非常に少ないため、古くから深刻な水不足に悩まされてきました。そのため、川の水の不足を補う工夫として、雨水を貯めておくための「ため池」が各地に築かれました。弘法大師（空海）が修築したとされる満濃池（まんのういけ）は、その代表的な例です。
問4	答え 1 核家族化や高齢化が進み、一人暮らしや二人家族といった少人数世帯の割合が増えたため。	鳥取県では、総人口が減少しているにもかかわらず世帯数が増加するという「世帯の細分化」が起きています。この背景には、高齢者の単身世帯（一人暮らし）や夫婦のみの世帯（二人家族）が増加し、かつて主流であった5人以上の多人数世帯が減少しているという家族構成の変化があります。人口が減っても、一世帯あたりの人数がそれ以上のペースで少なくなれば、世帯の総数は増えることになります。
問5	答え 2 北を中国山地、南を四国山地に挟まれており、夏と冬の季節風がそれぞれの山地によってさえぎられるため。	瀬戸内の気候が乾燥する最大の要因は、二つの山地に挟まれた地形にあります。夏は太平洋からの湿った季節風が四国山地に、冬は日本海からの湿った季節風が中国山地にさえぎられ、それぞれの山脈の風下にあたる瀬戸内地域には乾燥した空気が流れ込むため、年間を通じて降水量が少なくなります。
問6	答え 3 他の産地と出荷時期をずらすことで、需要が高い時期に有利な価格で販売するため	高知県で行われている促成栽培は、黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、他の地域が生産できない冬から春にかけて出荷することを目的としています。市場に出回る量が少ない時期に出荷することで、競争を避け、高い販売価格を得るという経営上のメリットがあります。
問7	答え 1 降水量が少ないため、稲作よりも果実の栽培が適しており、果実の産出額が米の産出額の3倍以上になっている。	瀬戸内式の気候に属する愛媛県は、四国山地の影響で台風などの影響を除けば雨が少ない地域です。こうした地域では、大量の水を必要とする稲作よりも、乾燥に強く水はけの良い土地を好むかんきつ類などの果樹栽培が適しています。数値を確認すると、果実の割合（40.2%）は米の割合（10.9%）の約3.7倍に達しており、地域の気候条件が農業産出額の内訳に明確に反映されていることがわかります。これに対し、同じ四国でも太平洋側に位置する高知県などは降水量が非常に多く、全く異なる農業の特色を持っています。
問8	答え 2 瀬戸大橋の開通によって、本州と四国が道路で直接結ばれたため	1988年の瀬戸大橋開通は、香川県坂出市と岡山県倉敷市を陸路で直結させました。それまでは船舶による移動が不可欠でしたが、橋の完成により自動車（自家用車や観光バス）で直接四国へ渡ることが可能になり、交通の利便性が飛躍的に向上したことが、観光客の交通手段が変化した直接の理由です。
問9	答え 2 冬の北西の季節風が中国山地に、夏の南東の季節風が四国山地にそれぞれさえぎられるため。	中国・四国地方には、中央を東西に走る中国山地と四国山地があります。冬は大陸側から北西の季節風が吹き込みますが、中国山地で遮られるため山陰で雪や雨が多くなり、瀬戸内には乾燥した空気が届きます。逆に夏は太平洋側から南東の季節風が吹き込みますが、四国山地で遮られるため南四国で雨が多くなり、瀬戸内にはやはり湿った空気が届きにくくなります。この二つの山地の影響により、瀬戸内では年間を通じて降水量が少ない特有の気候が見られます。
問10	答え 4 香川県	日本の都道府県の中で最も面積が小さい県は香川県です。1988年に国土地理院が算定方法を見直した結果、それまで最小だった大阪府を上回る面積の小ささであることが確認されました。面積は小さいものの、瀬戸内海に面した立地を活かした工業や、都市機能の集約が図られている点が統計上の特徴です。
問11	答え 3 製造業の就業者割合が全国平均より高く、化学工業などの工業が地域経済を支えている。	徳島県は伝統的な藍染めや製菓業の基盤から発展した化学工業のほか、近年ではLEDなどの先端技術に関連した製造業も盛んです。そのため、四国地方の中でも製造業の就業者割合が高く、第2次産業が県の産業構造において重要な役割を果たしている点が、試験でも頻出のポイントとなります。
問12	答え 3 温暖な気候を利用して、ビニールハウスなどで野菜の出荷時期を通常より早める「促成栽培」が盛んだから。	高知県は、南部の高知平野を中心に、黒潮がもたらす温暖な気候を最大限に利用しています。冬でも暖かい気候を活かし、ビニールハウスなどでピーマンやなす、きゅうりなどの夏野菜を冬から春にかけて栽培し、他の地域より早い時期に出荷する「促成栽培」が行われています。この方法は、野菜の価格が高い時期に市場へ供給できるため、農業産出額を押し上げる大きな要因となっています。一方で「抑制栽培」は長野県や群馬県などの高冷地で見られる手法であり、高知県の特色とは異なります。
問13	答え 3 オリーブ	瀬戸内地域の「温暖で雨が少ない」という気候は、地中海沿岸に見られる地中海性気候と似た特徴を持っています。このため、乾燥に強く温暖な気候を好むオリーブの栽培に適しており、小豆島は日本における主要な産地として知られています。他の選択肢のうち、さくらんぼはりんごと同じく冷涼な気候を、さとうきびはより亜熱帯に近い高温多湿な気候を好みます。

- 問1 香川県では古くから数多くの「ため池」が作られ、水不足への対策が講じられてきましたが、昭和時代には吉野川から水を引く大規模な「香川用水」が整備されました。このように新たな水源を確保する必要があった理由として、地域の気候や環境の背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。（2023年 北海道公立入試 類似）
1. 瀬戸内式の気候で降水量が少なく、ため池だけでは近年の需要増大や深刻な干ばつに対応しきれなかったため。
 2. 吉野川の下流域で頻発する洪水を防ぐため、水を讃岐平野側に放流して調整する必要があったため。
 3. 高度経済成長期にすべてのため池が埋め立てられ、工業用地や住宅地へと転用されてしまったため。
 4. 香川県内の地下水から塩分が検出されるようになり、農業や生活に利用できなくなったため。
- 問2 四国地方の山地の南側斜面において、みかんなどの柑橘類の栽培が盛んに行われている理由として、自然環境の面から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）
1. 海岸沿いに広がる広大な砂丘地帯において、スプリンクラーなどの灌漑設備を整え、水はけの良さを活かしているため。
 2. 夏に発生しやすい冷害を避けるため、標高の高い傾斜地を利用して冷涼な気候を維持し、害虫の発生を抑えているため。
 3. 付近を流れる暖流の影響で年間を通して温暖であり、南向きの斜面で日当たりが良く、排水や寒暖差の条件が適しているため。
 4. 冬に北西から吹く季節風がもたらす大量の積雪を、春先の農業用水として安定して利用できる地形であるため。
- 問3 中国・四国地方の3つの都市における降水量の特徴について説明した次の文章のうち、瀬戸内の気候（広島など）に該当するものはどれですか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）
1. 年間降水量が約1500mmと比較的少なく、夏・冬ともに極端な多雨にならない。
 2. 12月から2月にかけての冬季の降水量が約400mmと、他の時期に比べて多くなる。
 3. 7月から9月にかけての降水量が約960mmに達し、年間を通じて降水量が非常に多い。
 4. 1年を通じて降水量が極めて少なく、冬の冷え込みが非常に厳しい中央高地の特色を持つ。
- 問4 愛知県、大阪府、広島県、高知県の4つの県の人口構成を比較したとき、60代から70代の層が厚く、15歳未満の若年層が極めて少ない「つぼ型」の人口ピラミッドを示す県として最も適切なものはどれですか。（2019年 茨城県公立入試 類似）
1. 愛知県
 2. 高知県
 3. 大阪府
 4. 広島県
- 問5 松江城（島根県）、松本城（長野県）、名古屋城（愛知県）、彦根城（滋賀県）、姫路城（兵庫県）の5つの城がある県の製造業を比較した際、島根県に特有の工業的特徴として正しいものはどれですか。製造品出荷額の構成に着目して答えなさい。（2023年 滋賀県公立入試 類似）
1. 伝統的な製鉄技術の歴史的背景もあり、製造品出荷額の上位4産業に鉄鋼業が含まれている。
 2. 高度な技術力を持つ中小企業が集積し、電子部品・デバイスの出荷額が県全体の8割を超えている。
 3. 内陸県特有の立地条件から、水資源を大量に消費するパルプ・紙や化学工業が上位を独占している。
 4. 太平洋ベルトの工業地域に位置することを生かし、製造品出荷額の大部分を輸送用機械が占めている。
- 問6 中国地方に位置する5つの県のうち、県名と県庁所在地名が異なる唯一の県について、その県名と県庁所在地名の正しい組み合わせを選びなさい。（2019年 熊本県公立入試 類似）
1. 岡山県 ― 倉敷市
 2. 山口県 ― 下関市
 3. 島根県 ― 松江市
 4. 鳥取県 ― 米子市
- 問7 岡山県と香川県の経済的・社会的な結びつきについて説明した文として、統計的な事実に基づいた最も適切なものはどれですか。（2023年 栃木県公立入試 類似）
1. 瀬戸大橋の開通によって交通の利便性が飛躍的に向上し、香川県を訪れる県外旅客のうち、隣接する岡山県からの割合が約半分に達するほど交流が活発である。
 2. 香川県は岡山県と陸続きで隣接しているため、瀬戸大橋を経由せずとも日常的な徒歩や自転車での往来が容易であり、旅客数が周辺県の中で最大となっている。
 3. 香川県の人口は約97万人であり、これは岡山県に隣接する広島県や兵庫県よりも多いため、必然的に岡山県からの旅客流入数も最大となっている。
 4. 岡山県と香川県は海を隔てているため、旅客の移動はフェリーが中心であるが、近年の高速道路料金の値下げにより広島県を上回る交流人口を維持している。
- 問8 1980年から2019年までの島根県における観光客数の推移を、分析したとき、統計上見られる特徴として正しい説明はどれですか。（2026年 島根県公立入試 類似）
1. 世界遺産登録などの大きな行事がある際、県外客が大幅に増えることで総数が押し上げられている
 2. 県外からの観光客は長年減少傾向にあるが、外国人観光客の急増によって総数が過去最高を更新し続けている
 3. 高速道路が開通した年のみ一時的に観光客が増加するが、翌年には行事の有無に関わらず元の水準に戻っている
 4. 観光客総数の増加は、主に県内居住者が県内各地を頻繁に訪れるようになったことで維持されている
- 問9 本州四国連絡橋の3つのルートのうち、広島県尾道市と愛媛県今治市を結び、サイクリングロードとしても人気が高い「しまなみ海道」が含まれるルートの名称として正しいものを選択してください。（2024年 和歌山県公立入試 類似）
1. 児島・坂出ルート
 2. 神戸・鳴門ルート
 3. 尾道・今治ルート
 4. 明石海峡ルート
- 問10 瀬戸内地方は、年間を通して降水量が少なく、晴天の日が多いことで知られています。このような気候が形成される地形的な理由として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 長野県公立入試 類似）
1. 冬の北西季節風を中国山地が、夏の南東季節風を四国山地がそれぞれ遮るため
 2. 冬の北西季節風を四国山地が、夏の南東季節風を中国山地がそれぞれ遮るため
 3. 南側に高い山地が存在しないため、太平洋からの湿った空気が雨を降らせずに通過するため
 4. 飛騨山脈と木曽山脈が日本海からの湿った空気を遮り、乾燥した風が流れ込むため
- 問11 四国地方に位置する徳島県の統計では、年間商品販売額が1999年の約2兆1千億円をピークに、2014年には約1兆3千億円まで減少しています。本州四国連絡橋の整備が進んだ時期に、このような統計結果が見られるようになった背景として最も適切なものはどれですか。（2024年 埼玉県公立入試 類似）
1. 交通網の利便性が高まった結果、地元の住民が買い回りも観光に時間を割くようになり、消費が分散したため。
 2. 交通網の整備によって物流のコストが下がり、地元で販売される商品の価格が全体的に安くなったため。
 3. 交通網の整備により県外からの人口流入が急増し、供給過多となって地元の商店が競争に敗れたため。
 4. 大都市への移動が便利になったことで、地元の住民が関西方面などの大都市で買い物をするようになったため。
- 問12 日本の都道府県には、県名と県庁所在地の名称が一致するものと、異なるものが存在します。次の4つの県のうち、県庁所在地の名称が県名と一致している県はどれですか。なお、それぞれの県庁所在地は、水戸市、新潟市、金沢市、岡山市のいずれかです。・関東地方に位置する茨城県・北陸地方に位置する新潟県・北陸地方に位置する石川県・中国地方に位置する岡山県（2016年 長崎県公立入試 類似）
1. 新潟県と岡山県
 2. 茨城県と新潟県
 3. 茨城県と石川県
 4. 石川県と岡山県

答え合わせ・解説

問1	答え 1 瀬戸内式の気候で降水量が少なく、ため池だけでは近年の需要増大や深刻な干ばつに対応しきれなかったため。	香川県（讃岐平野）は、南側に四国山地、北側に中国山地があるため、湿った空気が遮られやすく、年間を通じて降水量が少ないのが特徴です。伝統的なため池による貯水だけでは、人口増加に伴う生活用水の需要や、長期間雨が降らない大規模な干ばつを乗り越えることが困難であったため、山を越えて他県の河川から安定的に送水する導水路が建設されました。
問2	答え 3 付近を流れる暖流の影響で年間を通して温暖であり、南向きの斜面で日当たりが良く、排水や寒暖差の条件が適しているため。	四国地方の南部は、日本列島の太平洋側を流れる黒潮（暖流）の影響を強く受けるため、冬でも凍結しにくい温暖な気候が保たれます。また、山地の南側斜面は日照時間が長く、果実の糖度を高めるのに必要な日光を十分に確保できるほか、傾斜地であるため水はけが良いという利点があります。これに加えて、台風の通過による多量の降水といった気象条件も、この地域の農業に大きな影響を与えています。
問3	答え 1 年間降水量が約1500mmと比較的少なく、夏・冬ともに極端な多雨にならない。	瀬戸内地方は、北側に中国山地、南側に四国山地が位置しているため、夏と冬の季節風がそれぞれ山地に遮られます。その結果、年間を通じて降水量が少なく、晴天の日が多いのが特徴です。他の選択肢にある「冬季に降水量が多い」のは日本海側、「夏から秋にかけて降水量が突出して多い」のは太平洋側の気候の特色です。
問4	答え 2 高知県	高知県は、大都市圏である愛知県や大阪府、地方中心都市を持つ広島県と比較して、少子高齢化が顕著に進んでいます。若年層が仕事や教育を求めて県外へ流出する一方で、65歳以上の高齢者の割合が高まるため、人口ピラミッドは底が狭く、中高年層の幅が広い「つぼ型」に近い形状となります。
問5	答え 1 伝統的な製鉄技術の歴史的背景もあり、製造品出荷額の上位4産業に鉄鋼業が含まれている。	島根県は、中国山地で古くから行われてきた「たたら製鉄」の伝統があり、その技術を継承・発展させた特殊鋼などの製造が現在も盛んです。そのため、日本海側に位置する同県の製造品出荷額において、鉄鋼業は上位4産業に入る重要な位置を占めています。他の選択肢にある「輸送用機械（愛知県など）」や「電子部品（長野県など）」とは異なる、島根県特有の産業構造です。
問6	答え 3 島根県 ― 松江市	中国地方で県名と県庁所在地名が異なるのは島根県だけです。島根県の県庁所在地は松江市です。鳥取県（鳥取市）、岡山県（岡山市）、広島県（広島市）、山口県（山口市）はすべて県名と同じ名称の市に県庁が置かれています。選択肢にある米子市や下関市、倉敷市は各県の主要な都市ですが、県庁所在地ではありません。
問7	答え 1 瀬戸大橋の開通によって交通の利便性が飛躍的に向上し、香川県を訪れる県外旅客のうち、隣接する岡山県からの割合が約半分に達するほど交流が活発である。	岡山県と香川県は瀬戸内海を挟んでいますが、瀬戸大橋という強力な交通インフラによって結ばれています。2019年の統計において、香川県を訪れる他都道府県からの旅客のうち、岡山県からの割合が46.8%と突出している事実は、橋の存在が両県の境界を越えた一体的な生活圏や経済圏を形成していることを示しています。
問8	答え 1 世界遺産登録などの大きな行事がある際、県外客が大幅に増えることで総数が押し上げられている	島根県の観光動態を分析すると、県内居住者による観光客数は比較的安定した推移を示しています。これに対し、石見銀山の世界遺産登録や出雲大社の遷宮といった大規模な社会的トピックがある時期には、県外からの観光客が爆発的に増加しており、これが観光客総数のグラフにおける急激なピークを形成する主因となっています。これは地域の文化遺産が、広域からの集客力を高める重要な資源であることを示しています。
問9	答え 3 尾道・今治ルート	広島県と愛媛県を結ぶ「尾道・今治ルート」は、瀬戸内海の島々を橋でつないでおり、「しまなみ海道」の愛称で親しまれています。このルートは、本州四国連絡橋の中で唯一、歩行者や自転車が行き来できる専用道路が並走しているのが特徴です。一方、岡山県と香川県を結ぶのは児島・坂出ルート、兵庫県と徳島県を結ぶのは神戸・鳴門ルートです。
問10	答え 1 冬の北西季節風を中国山地が、夏の南東季節風を四国山地がそれぞれ遮るため	日本の気候は季節風の影響を強く受けますが、瀬戸内地方は北を中国山地、南を四国山地に囲まれています。冬は日本海側から吹く湿った風が中国山地にぶつかって雪を降らせた後、乾燥した風となって瀬戸内側に吹き込みます。夏は太平洋側からの湿った風が四国山地にぶつかって雨を降らせた後、乾燥した風が吹き込みます。このように、2つの山地が障壁となって季節風が運ぶ水分を遮断するため、瀬戸内地方は年間降水量が少なくなります。
問11	答え 4 大都市への移動が便利になったことで、地元の住民が関西方面などの大都市で買い物をするようになったため。	交通網の整備は本来、地域経済の活性化を期待して行われますが、徳島県のように大都市圏（関西方面）に近い地域では、住民が大都市へ容易に行けるようになったことで、地元での消費が減少する事態を招きました。統計データに見られる販売額の減少は、交通の便が良くなったことで地方の購買力が大都市に吸い寄せられた結果であり、これをストロー現象と呼びます。人口減少や少子高齢化だけでなく、こうした交通網による外部への流出も、地方の消費に大きな影響を与えています。
問12	答え 1 新潟県と岡山県	新潟県の県庁所在地は新潟市、岡山県の県庁所在地は岡山市であり、どちらも県名と都市名が一致しています。一方で、茨城県の県庁所在地は水戸市、石川県の県庁所在地は金沢市であり、県名とは異なる名称が使われています。全国の約6割の都道府県では県名と県庁所在地名が一致していますが、北関東や北陸、近畿地方などでは異なる名称を持つ県が多く見られます。

- 問1 日本の各都市の気候統計を分析した際、香川県高松市のように「1月の降水量が約50mm、8月の降水量が約100mm」という、夏・冬ともに降水が控えめで、年間を通じて雨が少ない特徴を持つ気候区分を何と呼びますか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. 太平洋側の気候 2. 中央高地の気候 3. 日本海側の気候 4. 瀬戸内の気候
- 問2 香川県を含む四国地方では、本州四国連絡橋の整備によって地域経済や人々の生活が大きく変化しました。1980年代後半以降、香川県への観光客の交通手段が船舶から自動車へと劇的にシフトした最大の要因として、最も適切な記述はどれですか。 (2017年 富山県公立入試 類似)
1. 瀬戸大橋の開通によって、本州と四国が道路で直接結ばれたため 2. 鉄道の高速化が進み、寝台特急などの利用者が増えたため 3. 高松空港の整備により、全国からの航空路線の便数が増えたため 4. 瀬戸内海での船舶事故を防ぐため、定期船の運航が全面的に廃止されたため
- 問3 地図上で広島県西部の沿岸に位置し、中国・四国地方最大の人口を有する都市の特徴として、最も適切なものはどれか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 地方中枢都市として、政府の出先機関や企業の支店などが集中している。 2. 本州と四国を結ぶ瀬戸大橋の起点があり、交通の結節点となっている。 3. 政令指定都市に指定されており、日本三名園の一つである後樂園がある。 4. 四国地方最大の都市であり、夏目漱石の小説の舞台としても知られる。
- 問4 広島県にある厳島神社の社殿が、陸地ではなくわざわざ潮の満ち引きがある海上の区域に建てられた理由として、最も関連の深い背景を選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
1. 宮島そのものが神体として崇められており、神聖な土地を削ったり傷つけたりすることを避けるため。 2. 当時の瀬戸内海では水軍の勢力が強く、軍事拠点としての機能を高めるために海上を占拠したため。 3. 木造建築の腐食を防ぐために、常に海水で床下を洗浄できる構造が望まれたため。 4. 大陸からの使者を迎える際、船から直接参拝できるように利便性を追求した結果であるため。
- 問5 四国地方の各県の産業を比較した際、徳島県にみられる特徴的な状況について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 第一次産業である農林水産業に従事する人の割合が、他県を圧倒して最も高い。 2. 観光業への特化が進んでいるため、宿泊・飲食サービス業の割合が他の産業より極端に高い。 3. 県内全域で商業のみが発達しており、製造業に従事する人の割合は極めて低い。 4. 製造業の就業者割合が全国平均より高く、化学工業などの工業が地域経済を支えている。
- 問6 西日本の地図において、中国地方の日本海側に面している県のうち、東側に位置する鳥取県のすぐ西側に隣接している県はどこですか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
1. 山口県 2. 岡山県 3. 広島県 4. 島根県
- 問7 1985年から2015年にかけての四国地方と他地域間の交通手段の変化をまとめた統計において、かつて主要な移動手段であった船舶の利用割合が激減し、代わって自動車の利用が急増して全体の過半数を占めるようになりました。このような交通の変化をもたらした最大の要因として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
1. 格安航空会社 (LCC) の参入によって航空機の利用料金が下がり、船舶から航空機への転換が進んだこと 2. 四国全域を網羅する新幹線網が完成したことにより、鉄道と自動車の連携による移動が普及したこと 3. 瀬戸大橋をはじめとする本州四国連絡橋が相次いで開通し、本州との間の陸上交通網が整備されたこと 4. 環境保護の観点から瀬戸内海での大型船舶の航行が厳しく制限され、物流の主役がトラックへ移行したこと
- 問8 交通網の整備によって、ある地点から別の地点へ移動するために必要な時間が短くなることを「時間距離の短縮」といいます。1988年に瀬戸大橋が開通した際、本州の岡山駅と四国の高松駅の間で見られた変化の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 香川県公立入試 類似)
1. 船舶から鉄道や自動車への転換により移動時間が大幅に短縮され、定期券の利用者が急増した。 2. 移動にかかる時間は変わらなかったが、橋の完成による心理的な安心感から利用者が増加した。 3. 橋の建設によって海を埋め立てたため、両駅間の物理的な移動距離そのものが短縮された。 4. 交通手段が多様化したことで、移動時間に関わらず運賃が大幅に引き下げられた。
- 問9 吉備中央町における2014年から2021年にかけての農業の動向について、統計的な傾向を説明したものととして正しいものはどれですか。 (2025年 宮城県公立入試 類似)
1. 品種改良によって収穫時期を分散させることには成功したが、経営規模や新規就農者の数については、期間を通じて大きな変化は見られない。 2. 新規就農者の受け入れと生産基盤の整備により、農家1戸あたりの経営面積が拡大し、それに伴って果実の産出額も大きく伸びている。 3. 高齢化による離農者が相次いだため、1戸あたりの経営面積は縮小したが、ブランド化による単価上昇によって果実の産出額は横ばいとなっている。 4. 耕作放棄地を工業団地へと転用したため、農地面積は減少しており、果実の産出額も2014年以降、減少傾向にある。
- 問10 鳥取県付近から南下し、岡山県・香川県付近を通過して愛媛県方面へと向かうルートを移動する際に観察できる、中国・四国地方の景観の移り変わりとして最も適切なものはどれですか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
1. リアス海岸が続く沿岸部から、巨大なカルデラをもつ火山群を越え、シラス台地の広がる平野へ続く景観 2. 広大な干拓地から、日本有数の製鉄所が並び工業地帯を通り、太平洋に面した茶畑へ続く景観 3. 雪の多い山岳地帯から、ビニールハウスによる促成栽培が盛んな平野を通り、真珠の養殖筏が並ぶ入り江へ続く景観 4. 鳥取砂丘から、瀬戸内海沿岸の石油コンビナートや瀬戸大橋を通り、愛媛県のミカン畑へ続く景観
- 問11 大阪市場における徳島県産真鯛の取り扱い量は、1985年の3トンから2010年には28トンへと約9倍に急増しています。このような変化をもたらした最大の要因として考えられるインフラの名称を選びなさい。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
1. 本州四国連絡橋 2. 青函トンネル 3. 関門橋 4. 関西国際空港
- 問12 ある統計資料によると、特定の農産物の国内生産量において、香川県が96.5%という圧倒的な割合を占めています。香川県（特に小豆島など）でこの農産物の栽培が盛んになった理由として、最も適切な説明を選択してください。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. 東南アジアの気候に似て、高温多湿で年間降水量が非常に多いため 2. 北欧の気候に似て、冷涼で夏場の日照時間が極めて長いため 3. 地中海沿岸の気候に似て、年間を通じて温暖で降水量が少ないため 4. 中央アメリカの高原地帯に似て、火山灰土壌で年中冷涼なため

答え合わせ・解説

問1	答え 4 瀬戸内の気候	高松市などの瀬戸内海沿岸で見られる気候は「瀬戸内の気候」と呼ばれます。この地域は季節風の影響を受けにくい、梅雨や台風の時期を除いて降水量が少なく、日照時間が長いのが特徴です。冬に雪が多い日本海側の気候や、夏に雨が多い太平洋側の気候とは、季節ごとの降水パターンの違いから明確に区別されます。
問2	答え 1 瀬戸大橋の開通によって、本州と四国が道路で直接結ばれたため	1988年の瀬戸大橋開通は、香川県坂出市と岡山県倉敷市を陸路で直結させました。それまでは船舶による移動が不可欠でしたが、橋の完成により自動車（自家用車や観光バス）で直接四国へ渡ることが可能になり、交通の利便性が飛躍的に向上したことが、観光客の交通手段が変化した直接の理由です。
問3	答え 1 地方中枢都市として、政府の出先機関や企業の支店などが集中している。	問題文が指す都市は広島市である。広島市は中国・四国地方の地方中枢都市であり、行政機関や企業の支社が集まっている。後楽園があるのは岡山市、四国最大で小説の舞台（『坊っちゃん』）として知られるのは松山市、瀬戸大橋の本州側の起点は岡山県倉敷市であるため、他の選択肢は誤りである。
問4	答え 1 宮島そのものが神体として崇められており、神聖な土地を削ったり傷つけたりすることを避けるため。	古くから宮島（厳島）は島全体が神として崇拝される「神体山」のような存在でした。そのため、神聖な陸地に直接柱を立てたり建物を建てたりすることを恐れ、海上に社殿を築いたとされています。これは自然崇拝の考え方が建築の形態に大きく影響を与えた事例といえます。
問5	答え 4 製造業の就業者割合が全国平均より高く、化学工業などの工業が地域経済を支えている。	徳島県は伝統的な藍染めや製菓業の基盤から発展した化学工業のほか、近年ではLEDなどの先端技術に関連した製造業も盛んです。そのため、四国地方の中でも製造業の就業者割合が高く、第2次産業が県の産業構造において重要な役割を果たしている点が、試験でも頻出のポイントとなります。
問6	答え 4 島根県	中国地方の日本海側には東から鳥取県、島根県の順に県が並んでいます。鳥取県と混同されやすいですが、西側に位置するのが島根県であることを地図上の位置関係から把握しておくことが重要です。
問7	答え 3 瀬戸大橋をはじめとする本州四国連絡橋が相次いで開通し、本州との間の陸上交通網が整備されたこと	1988年の瀬戸大橋開通を皮切りに、神戸・鳴門ルート、尾道・今治ルート（しまなみ海道）といった本州四国連絡橋が次々と整備されました。これにより、それまで船舶に頼っていた本州への移動が、自家用車や高速バス、トラックなどの自動車中心へと劇的に変化しました。この変化は「陸続き」になったことによる利便性の向上を象徴しています。
問8	答え 1 船舶から鉄道や自動車への転換により移動時間が大幅に短縮され、定期券の利用者が急増した。	瀬戸大橋の開通は、それまで船舶に頼っていた本州と四国の間の移動を劇的に変化させました。1987年から1991年にかけてのJR岡山駅・高松駅間の定期券利用者数の推移を見ると、橋が開通した1988年を境に利用者が急増しています。これは「時間距離」が短縮されたことで、県境を越えた通勤や通学が現実的なものとなり、生活圏が一体化したことを示しています。物理的な「距離」は変わりませんが、交通網の整備によって「移動時間」という尺度の距離が縮まったことが重要なポイントです。
問9	答え 2 新規就農者の受け入れと生産基盤の整備により、農家1戸あたりの経営面積が拡大し、それに伴って果実の産出額も大きく伸びている。	吉備中央町の統計では、2014年から2021年にかけて営農規模（1戸あたりの面積）が26aから37aへと拡大しています。これは町による「ぶどう生産団地」の整備や共同出荷体制、研修制度の充実が功を奏し、意欲のある新規就農者が増えたためです。この経営規模の拡大に比例するように、果実の産出額も同期間で顕著な増加を示しており、地域の基幹産業としての成長が見て取れます。
問10	答え 4 鳥取砂丘から、瀬戸内海沿岸の石油コンビナートや瀬戸大橋を通り、愛媛県のミカン畑へ続く景観	中国・四国地方を北から南へ横断する場合、まず日本海側（山陰）では鳥取砂丘に代表される海岸地形が見られます。次に中央部の瀬戸内海沿岸（瀬戸内）へ進むと、波の静かな環境を活かした石油コンビナートなどの重化学工業地帯や、本州と四国を結ぶ瀬戸大橋が位置しています。さらに南下した四国（南四国）の愛媛県などでは、温暖な気候と傾斜地を活かしたミカン栽培が盛んであり、ミカン畑の広がる景観が特徴です。
問11	答え 1 本州四国連絡橋	徳島県と兵庫県、香川県と岡山県、愛媛県と広島県をそれぞれ結ぶ「本州四国連絡橋」の開通は、四国の産業に大きな変化を与えました。特に神戸・鳴門ルート（明石海峡大橋など）の全線開通により、徳島県から関西圏へのアクセスが飛躍的に向上しました。これにより、1980年代にはフェリー輸送で時間がかかっていた真鯛などの特産品が、トラックによる高速輸送で迅速に大阪市場へ届けられるようになり、流通量が劇的に増加しました。
問12	答え 3 地中海沿岸の気候に似て、年間を通じて温暖で降水量が少ないため	オリーブの栽培には、地中海沿岸に見られるような「乾燥した夏」と「温暖な冬」という条件が重要です。香川県を含む瀬戸内海沿岸は、季節風が山地に遮られるため年間を通じて降水量が少なく、日照時間が長いという特徴があり、オリーブの生育環境として日本国内で最も適していました。